

◆ 研究分野	眼科学
◆ キーワード	イヌ、白内障、緑内障、網膜変性、網膜剥離、視野測定
◆ 産業界での応用の可能性等	イヌの眼科疾患症例を通じてみた比較眼科研究 イヌの品種間を比較しながらみた眼科疾患の遺伝子解析
◆ 共同研究・受託研究可能なテーマ	イヌの眼科疾患症例(DNA サンプル 2105 検体)における遺伝子解析 イヌの水晶体蛋白および網膜組織蛋白に関する研究
◆ 利用可能な設備・機器等(共用機器も可)	網膜電図装置、眼圧計、眼底カメラ、細隙灯生体顕微鏡、クロマトグラフィシステム(BioLogic LP システム、BIO-RAD)、クリーンベンチ、CO ₂ インキュベーター、倒立位相差顕微鏡、サーマルサイクラー、チューブゲル等電泳装置、タンク式プロテソング装置、など。
◆ 関連の知的財産等	特開 2002-68978(P2002-68978A)、特願 2010-213880、特願 2011-152745
◆ 所属学会	比較眼科学会、日本獣医学会

研究紹介 (概要)

イヌの眼科疾患症例における眼科疾患遺伝子の解析と血清自己眼組織蛋白抗体

イヌの眼科疾患症例数は 3053 頭を数え、そのうち最もよく見られる疾患は「水晶体の疾患」(968 頭、32%)で、次いで「角膜の疾患」(520 頭、17%)、「眼底の疾患」(437 頭、14%)、「緑内障」(262 頭、9%)とつづく。また、眼科疾患に罹りやすい品種がある(表)。しかし、個々の疾患頻度は品種でまちまちです。

シーズー	463	15%
ミニチュアダックスフンド(ロング)	308	10%
柴犬	203	7%
アメリカンコッカースパニエル	189	6%
トイプードル	186	6%
キャバリアキングチャールズスパニエル	108	4%
ゴールデンレトリバー	105	3%
マルチーズ	104	3%
ヨークシャーテリア	90	3%
シェットランドシープドッグ	82	3%
ミニチュアシュナウザー	81	3%
ラブラドルレトリバー	80	3%
チワワ	74	2%
バグ	67	2%
ボメラニアン	67	2%
パピヨン	64	2%
その他	534	17%
交雑種	248	8%
計	3053	100%

品種依存性が高く、遺伝的素因で発症する疾患は、「水晶体の疾患」の白内障、「眼底の疾患」の網膜変性および網膜剥離、ならびに「緑内障」です。



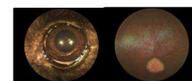
白内障

白内障に罹患しやすい犬種は、アメリカンコッカースパニエルです。



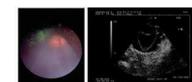
緑内障

緑内障に罹患しやすい犬種は、柴犬です。



網膜変性

網膜変性に罹患しやすい犬種は、ミニチュアダックスフンドです。



網膜剥離

網膜剥離に罹患しやすい犬種は、シーズーです。



犬種写真転用: ジャパンケネルクラブ, <http://www.jkc.or.jp/modules/worlddogs/>

社会、産業界への PR

国内の飼育犬に対して、健全な遺伝的資質を持つイヌの育成についてお手伝いをしたい。とくに、在来種である柴犬は海外でもポピュラーで人気の犬種であるため、眼疾患に罹りにくい資質の育成にはとても関心があります。

また、イヌの眼科疾患は品種によって多様な病態を示すことから、比較医学の分野で交流を深めることができれば大変、光栄だと思います。

職名	准教授		
氏名	印牧 信行		
ローマ字	KANEMAKI NOBUYUKI	学位	博士(獣医学)
所属学部等	附属動物病院	所属学科等	
所属研究室等	小動物臨床研究室	URL	http://www.azabu-u.ac.jp/link/hospital/lsac.html